

ナカミシシラン

学名 *Vittaria fudzinoi* Makino

目名

目名学名

科名 シシラン科

科名学名 Vittariaceae

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省：掲載なし



【選定理由】

関東地方以西に希に分布する。本県では1996年に初めて自生が確認された。生育地では自然林内の樹幹にわずかな個体が着生しているが、風水害による倒木被害により、絶滅の危険性が極めて高くなっている。

県内分布	津江山地, 北川上流域
分布域	本州(東京, 中部地方以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	中国南西部
生育環境	山地の林内の樹幹に着生。
現状	津江山地のほか, 近年北川上流域での生育地が確認された。着生が確認された樹木は数本で, 個体数もごくわずかである。
備考	

ハチジョウシダ

学名 *Pteris fauriei* Hieron.

目名

目名学名

科名 イノモトソウ科

科名学名 Pteridaceae

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省：掲載なし



【選定理由】

暖地性のシダ植物で、伊豆半島以南の沿海地に分布する。本県では、1か所に数個体の生育が確認されているだけで、生育環境の悪化による絶滅が危惧される。

県内分布	豊後水道域
分布域	本州南部(伊豆諸島・伊豆半島・紀伊半島), 四国(愛媛・高知), 九州(大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	中国, 台湾, インドシナ
生育環境	海岸近くの常緑樹林内。
現 状	1995年に豊後水道域の1か所で生育が確認された。同地に数個体が生育しているだけである。
備 考	

キドイノモトソウ

学名 *Pteris kidoi* Kurata

目名

目名学名

科名 イノモトソウ科

科名学名 Pteridaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU)

環境省：Ⅱ (VU)



[選定理由]

日本では中国・四国と九州の石灰岩地域だけに分布する。本県での分布も石灰岩地域に限られ、石灰岩の採掘や道路工事、人による生育地のかく乱などの影響で生育地が消滅したり、個体数の減少が著しい生育地が増えている。

県内分布	石灰岩地域
分布域	本州(岡山・山口), 四国(高知・愛媛), 九州(福岡・熊本・大分)
世界的分布	台湾
生育環境	石灰岩地の岩上や岩隙。
現 状	生育地が消滅したり、個体数が減っている所が増えている。最近では、生育地となっている石灰岩の岩壁でクライミング(登攀)が行われるようになり、この競技者によるかく乱がみられる所がある。
備 考	

アイコハチジョウシダ

学名 *Pteris laurisilvicola* Kurata

目名

目名学名

科名 イノモトソウ科

科名学名 Pteridaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし



【選定理由】

暖地に分布するシダ植物。県内の生育地は限られており、個体数も少ない。森林伐採や林道工事などにより絶滅の危険性が高まっている。

県内分布	耶馬溪地区, 豊後水道後背地域
分布域	本州(静岡・紀伊半島), 四国南部, 九州(福岡・佐賀・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	中国
生育環境	低地のやや湿った林内。
現 状	県内の生育地は数か所で、いずれの生育地でも1～数個体が生育しているだけである。道路工事で消滅した生育地もある。
備 考	

ヤワラハチジョウシダ

学名 *Pteris natiensis* Tagawa

目名

目名学名

科名 イノモトソウ科

科名学名 Pteridaceae

カテゴリー 大分県： I A(CR) 環境省：掲載なし



【選定理由】

日本固有種で、全国的にも分布量が少ない。本県で確認されたのは1か所だけで、生育地が路肩であるため、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	豊後水道域
分布域	本州(紀伊半島), 四国南部, 九州(長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低地の路傍。
現 状	現在確認されている生育地は1か所で、畑地を通る道路路肩に数個体が生育しているだけである。
備 考	日本固有種

ハチジョウシダモドキ

学名 *Pteris oshimensis* Hieron.

目名

目名学名

科名 イノモトソウ科

科名学名 Pteridaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし



【選定理由】

暖地性のシダ植物で、本州南西部から九州にかけて分布する。本県での分布はごく希で、森林伐採や林道工事などにより絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	大分川・大野川丘陵地, 豊後水道後背地域, 北川上流域
分布域	本州(関東地方以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	中国, インドネシア
生育環境	低地の林内や林縁。
現 状	スギ植林地内や林縁の極めて狭い範囲に少数の個体が生育している。
備 考	異名コハチジョウシダ

シモツケヌリトラノオ

学名 *Asplenium normale* D.Don var. *boreale* Ohwi ex Kurata

目名

目名学名

科名 チャセンシダ科

科名学名 *Aspleniaceae*

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし



【選定理由】

九州では熊本・大分・宮崎だけに分布する。本県での分布は県南東部の石灰岩・変成岩地に限られており、道路工事等の影響で生育環境が悪化したり、消滅した生育地がある。

県内分布	豊後水道後背地域, 石灰岩地域
分布域	本州(関東地方北部, 伊豆半島以西), 四国, 九州(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	中国南西部, ヒマラヤ
生育環境	丘陵地の石灰岩や変成岩壁に着生。
現 状	確認されている生育地は少なく, 生育環境が悪化したり, 消滅した生育地がある。
備 考	

カミガモシダ

学名 *Asplenium oligophlebium* Baker

目名

目名学名

科名 チャセンシダ科

科名学名 *Aspleniaceae*

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし



[選定理由]

京都府や兵庫県ではやや普通に分布するが、それ以外の地域では希である。本県では国東半島のプロピライト(変巧安山岩)地域に分布しており、道路工事などが行われれば消滅してしまう可能性が高い。

県内分布	国東地区
分布域	本州(新潟・岐阜県以西), 四国, 九州(福岡・大分・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	丘陵地のやや湿った林内や林縁の岩上に着生。
現状	生育地では群落を形成しているが、県道に隣接しているため危険性が高い。
備考	日本固有種

ヒノキシダ

学名 *Asplenium prolongatum* Hook.

目名

目名学名

科名 チャセンシダ科

科名学名 *Aspleniaceae*

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省：掲載なし



【選定理由】

暖地性の常緑シダ植物。九州全域に分布しているが、本県での生育地は限定されており、個体数も少なく、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	耶馬溪地区, 豊後水道後背地域
分布域	本州(伊豆半島・静岡・紀伊半島), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 台湾, 中国, ベトナム, スリランカ
生育環境	低地や丘陵地の山林中のやや湿った岩上。
現 状	本県での生育地は数か所で、個体数も少ない。
備 考	

クモノスシダ

学名 *Asplenium ruprechtii* Kurata

目名

目名学名

科名 チャセンシダ科

科名学名 *Aspleniaceae*

カテゴリ 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし



[選定理由]

好石灰岩性のシダ植物。日本全国に広く分布するが、本県の分布は隔離的で個体数も少なく、石灰岩の採掘や林道工事などによる生育地の減少が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 大野川上流域, 豊後水道後背地域, 北川上流域, 石灰岩地域
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎)
世界的分布	朝鮮半島, 中国東北部, ロシア東部
生育環境	丘陵地の岩角地や石灰岩上に着生。
現 状	生育地の大きな環境変化は認められないが、個体数は多くない。
備 考	

コタニワタリ

学名 *Asplenium scolopendrium* L.

目名

目名学名

科名 チャセンシダ科

科名学名 *Aspleniaceae*

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省：掲載なし



[選定理由]

温帯性の常緑シダ植物で、九州での分布は希である。本県の生育地では、土地造成により個体数が激減し、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	玖珠丘陵地・山地
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州 (福岡・佐賀・熊本・大分)
世界的分布	南千島, 樺太, 朝鮮半島, 中国, ロシア, ヨーロッパ, 北アメリカ
生育環境	丘陵地のやや陰湿な林床。
現 状	生育地が3か所から1か所に減少し、個体数も非常に少ない。
備 考	

トキワシダ

学名 *Asplenium yoshinagae* Makino

目名

目名学名

科名 チャセンシダ科

科名学名 *Aspleniaceae*

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし



[選定理由]

空中湿度の高い自然林内に生育し、岩上や樹幹に着生する。本県では生育地も少なく、個体数も多くない。自然林の伐採等により生育地が狭められ、危険性が高くなった所がある。

県内分布	津江山地, 祖母・傾山地, 北川上流域
分布域	本州(関東地方・東海地方・紀伊半島), 四国, 九州(福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	中国, 台湾, ヒマラヤ
生育環境	丘陵地や低山地の林内の湿ったコケに覆われた岩上や樹幹に着生。
現状	生育地は県内数か所に点在しており, 個体数も減少傾向にある。
備考	

オサシダ

学名 *Blechnum amabile* Makino

目名

目名学名

科名 シシガシラ科

科名学名 *Blechnaceae*

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし



[選定理由]

温帯性のシダ植物で、四国や九州では希に分布する。本県での分布は点的で、個体数も少なく、岩面の掘削等による生育地の減少が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 英彦山・犬ヶ岳山地, 玖珠丘陵地・山地, 別府湾沿岸域, 由布・鶴見火山群, 祖母・傾山地
分布域	本州, 四国(高知・愛媛), 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	山地や丘陵地の林下の岩上や岸壁に着生。
現状	砂防ダム建設や風水害などで生育環境が悪化し, 個体数が激減した生育地がある。
備考	日本固有種

オトコシダ

学名 *Arachniodes assamica* (Kuhn) Ohwi

目名

目名学名

科名 オシダ科

科名学名 Dryopteridaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: 掲載なし



【選定理由】

伊豆半島以西に分布する比較的希なシダ植物である。本県では、溪流沿いの極めて狭い範囲にわずかな個体が生育しており、風水害の影響を受けやすく、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	耶馬溪地区
分布域	本州(伊豆半島・紀伊半島・山口), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	中国, インドシナ, タイ, ミャンマー, インド, ネパール
生育環境	丘陵地の湿った林内。
現状	溪流沿いの常緑林内斜傾地に, 数個体が生育している。
備考	

ヒロハナライシダ

学名 *Arachniodes quadripinnata* (Hayata) Serizawa subsp. *fimbriata* (Koidz.) Serizawa

目名

目名学名

科名 オシダ科

科名学名 *Dryopteridaceae*

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし



[選定理由]

本州の一部と九州中央部に希に分布する。本県では英彦山・犬ヶ岳山地と津江山地の数か所で生育が確認されているが、個体数は少ない。森林伐採や林道新設工事等で生育地の狭小化や消滅が危惧される。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地, 津江山地
分布域	本州(岐阜・奈良・山口), 九州(福岡・熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	丘陵地～低山地の林内。
現状	数か所で確認されているが、個体数は少ない。
備考	

ハガクレカナワラビ

学名 *Arachniodes yasui-inouei* Kurata

目名

目名学名

科名 オシダ科

科名学名 Dryopteridaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(耶馬溪地区)
分布域	本州(紀伊半島・山口), 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	
現状	耶馬溪地区で1981年に採集された標本があるが, 以降確認されていない。
備考	日本固有種で, 紀伊半島以西に希に分布する。

メヤブソテツ

学名 *Cyrtomium caryotideum* (Wall. ex Hook. et Grev.) Presl

目名

目名学名

科名 オシダ科

科名学名 Dryopteridaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし



[選定理由]

関東以西に分布する比較的希なシダ植物である。本県では、石灰岩地域に比較的多くの生育地があるが、石灰岩の採掘、森林伐採や林道工事、動物による食害などにより生育環境が悪化した箇所が多くなっている。

県内分布	耶馬溪地区, 日田低地・丘陵地, 大分川・大野川丘陵地, 大野川上流域, 石灰岩地域
分布域	本州(福島県以南), 四国, 九州(福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	中国, 台湾, インドシナ, ネパール, インド, フィリピン, ハワイ
生育環境	低地や丘陵地のやや湿った傾斜地や岩角地の林内。
現 状	生育地の多くで, 個体数が減少傾向にある。
備 考	

イズヤブソテツ

学名 *Cyrtomium fortunei* J.Sm. var. *atropunctatum* (Kurata) K.Iwats.

目名

目名学名

科名 オシダ科

科名学名 Dryopteridaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(北川上流域)
分布域	本州(静岡県以西), 四国(徳島・高知), 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低地～丘陵地の林内や林縁。
現状	北川上流域の1か所で採集された標本がある。
備考	

ツクシヤブソテツ

学名 *Cyrtomium macrophyllum* (Makino) Tagawa var. *tukusicola* (Tagawa) Tagawa

目名

目名学名

科名 オシダ科

科名学名 Dryopteridaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし



[選定理由]

関東地方以西から九州にかけての暖地に分布する。生育地は県内に点在するが、どこも個体数は少ない。森林伐採や砂防ダム建設、動物による食害などにより個体数の減少が著しい。

県内分布	耶馬溪・国東丘陵地, 英彦山・犬ヶ岳山地, 津江山地, 祖母・傾山地
分布域	本州(関東地方以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	中国
生育環境	丘陵地～低山地の湿った林内。
現状	ほとんどの生育地で個体数が減少している。消滅した箇所も多い。
備考	

ナチクジャク

学名 *Dryopteris decipiens* (Hook.) O.Ktze.

目名

目名学名

科名 オシダ科

科名学名 Dryopteridaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし



[選定理由]

暖地性のシダ植物で、関東地方以西に分布する。本県では、沿海地から低地にかけて希に分布する。宅地造成や森林伐採、林道工事などで生育環境が悪化したり、消滅した生育地もみられる。

県内分布	耶馬溪地区, 大分川・大野川丘陵地, 豊後水道域, 豊後水道後背域, 大野川上流域, 北川上流域
分布域	本州(関東地方以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	中国
生育環境	低地や丘陵地の照葉樹林の林床や崖地。
現 状	宅地開発, 林道工事などの影響で個体数が減少したり, 消滅した生育地がある。
備 考	

ヌカイタチシダ

学名 *Dryopteris gymnosora* (Makino) C.Chr.

目名

目名学名

科名 オシダ科

科名学名 Dryopteridaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし



【選定理由】

関東地方以西に希に分布する。本県では南東部だけに数か所の生育地が確認されており、森林伐採や道路工事、ダム建設などで絶滅の危険性が高まっている。

県内分布	豊後水道後背地域, 北川上流域
分布域	本州(関東地方以西), 四国, 九州(佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	中国南部
生育環境	低地の林内や崖地。
現 状	道路沿いの変成岩の崖に個体が着生しており, 消滅の危険性が高まっている生育地がある。
備 考	

サクライカグマ

学名 *Dryopteris gymnophylla* (Bak.) C.Chr.

目名

目名学名

科名 オシダ科

科名学名 Dryopteridaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(大分川・大野川丘陵地)
分布域	本州(宮城県以南), 九州(大分)
世界的分布	
生育環境	低地林内の斜面。
現 状	1976年と1978年に採集された標本がある。
備 考	日本固有種。九州では本県だけで生育が確認されていた。

ツクシオオクジャク

学名 *Dryopteris handeliana* C.Chr.

目名

目名学名

科名 オシダ科

科名学名 *Dryopteridaceae*

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし



[選定理由]

九州と中国・四国地方の一部に希に分布する。生育地は県内に点在するが、どこも個体数は少ない。森林伐採や林道工事、動物による食害などで生育環境が悪化したり、個体数の激減した生育地がある。

県内分布	耶馬溪地区, 英彦山・犬ヶ岳山地, 津江山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群
分布域	本州(山口), 四国(愛媛・高知), 九州(福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	中国
生育環境	低山地の湿った林内。
現状	近年, 数か所で生育が確認されたが, 個体数は1~数個体と少ない。耶馬溪地区の生育地では, 比較的多くの個体が生育していたが, シカの食害で個体数が激減している。
備考	

ニセヨゴレイタチシダ

学名 *Dryopteris hadanoi* Kurata

目名

目名学名

科名 オシダ科

科名学名 *Dryopteridaceae*

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：準(NT)



【選定理由】

日本固有種で、中国・四国地方の一部と九州に希に分布する。シイ・カシなどの常緑樹林との結び付きが強いので、森林伐採や土地開発などの影響を受けやすく、消滅した生育地もある。

県内分布	別府湾沿岸域, 大分川・大野川丘陵域, 豊後水道域, 豊後水道後背地域, 北川上流域
分布域	本州(山口), 四国(高知), 九州(長崎・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低地のやや乾燥した常緑樹林内や林縁。
現状	生育地の多くが沿海地の人類文化地やその周辺部で, 個体数は多くない。
備考	1953年に宮崎県北浦町で採集されたものがタイプ標本。

ヌカイタチシダモドキ

学名 *Dryopteris indusiata* (Makino) Makino et Yamam. ex Yamam.

目名

目名学名

科名 オシダ科

科名学名 *Dryopteridaceae*

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし



[選定理由]

静岡県から九州に分布する。本県の生育地は散在するが、森林伐採や道路工事、風水害による生育地の流出などで危険性が高くなった所がある。

県内分布	耶馬溪・国東丘陵地, 津江山地, 別府湾沿岸域, 豊後水道後背地域, 北川上流域
分布域	本州(静岡県以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	台湾
生育環境	低地～丘陵地の湿度の高い林内や崖地。
現 状	生育環境の悪化で個体数が少なくなっている。風水害により消滅した生育地もある。
備 考	

ギフベニシダ

学名 *Dryopteris kinkiensis* Koidz. ex Tagawa

目名

目名学名

科名 オシダ科

科名学名 *Dryopteridaceae*

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(玖珠丘陵地・山地)
分布域	本州(東北南部以南), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 中国
生育環境	丘陵地の路傍。
現 状	本県では1977年に玖珠丘陵地・山地で採集された標本があるが, それ以降生育が確認されていない。
備 考	

キヨズミオオクジャク

学名 *Dryopteris namegatae* (Kurata) Kurata

目名

目名学名

科名 オシダ科

科名学名 *Dryopteridaceae*

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし



[選定理由]

関東地方以西にやや希に分布する。本県では、森林伐採や道路工事などによる生育環境の悪化や動物による食害で絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	耶馬溪地区, 英彦山・犬ヶ岳山地, 津江山地, 玖珠丘陵地・山地
分布域	本州(関東地方以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	中国(四川省)
生育環境	丘陵地の林内。
現状	生育地の多くがスギ植林内である。シカの食害で、消滅寸前の生育地がある。
備考	

ワカナシダ

学名 *Dryopteris pycnopteroides* (Christ) C.Chr.

目名

目名学名

科名 オシダ科

科名学名 *Dryopteridaceae*

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし



[選定理由]

群馬県から九州まで分布域をもつが、個体数は少ない。森林伐採や道路工事による生育環境の悪化や動物による食害により消滅寸前の生育地がある。

県内分布	日田低地・丘陵地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群
分布域	本州(群馬県以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	中国
生育環境	丘陵地の林内。
現状	生育地のほとんどがスギ植林内である。スギの伐採や林道工事, シカによる食害で個体数の減少が著しい生育地がある。
備考	

オワセベニシダ

学名 *Dryopteris ryo-itoana* Kurata

目名

目名学名

科名 オシダ科

科名学名 *Dryopteridaceae*

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし



【選定理由】

本州・四国の一部に希に分布する。2001年に本県で九州では初めての生育が確認された。生育範囲・個体数とも少なく、動物による食害により生育環境の悪化、個体数の減少が著しい。

県内分布	豊後水道後背地域
分布域	本州(岐阜・紀伊半島・山口), 四国, 九州(熊本・大分)
世界的分布	
生育環境	低地の変成岩の岩角地
現 状	変成岩地域の3か所で生育が確認されている。樹木の伐採やシカの食害による影響で、生育地周辺の乾燥化が進んでいる。また、本種へのシカによる食害も深刻である。
備 考	

イワイタチシダ

学名 *Dryopteris saxifraga* H.Ito

目名

目名学名

科名 オシダ科

科名学名 Dryopteridaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU)

環境省：掲載なし



【選定理由】

温帯性のシダ植物で、九州での分布は希である。本県での生育地は、九重火山群や由布・鶴見火山群に偏在する。林内の乾燥化などによる生育環境の悪化が懸念される。

県内分布	九重火山群, 由布・鶴見火山群
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州 (福岡・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 中国東北部
生育環境	低山地の林内の崖地や傾斜地の岩上に着生。
現 状	比較的標高の高い林内の湿った崖地や傾斜地の岩上に着生しているが、個体数が減少している。
備 考	